



## Ⅱ 社会参加・共生推進学習事業の概要

### Ⅱ 社会参加・共生推進学習事業の概要

社会参加の機会が少ない市民を対象に、社会参加を促進するための支援学習を行った。外国人市民等（外国人市民や帰国した日本人市民）が日常生活に必要な日本語などを学ぶ識字学習活動、国語・数学などを中心に中学校課程の基礎的知識と教養を学ぶ社会人学級、障がいのある人の余暇活動と社会参加をめざす障がい者社会参加学習活動等の事業を各区の地域性を活かしながら実施した。

#### 1 識字学習活動

識字学習活動は、外国人市民等が日本での生活を円滑に営めるように、日常生活に必要な基礎的日本語を身につける場であり、支援する場である。1985（昭和60）年から中原市民館で実施していた社会人学級の日本語科（夜間）を国際識字年である1990（平成2）年に識字学級として独立させ、さらに午前の学級を新たに開設した。その後、1992（平成4）年に麻生市民館、1993（平成5）年に教育文化会館田島分館、幸市民館で順次開設し、1996（平成8）年からは全市民館で実施されるようになった。各館では識字・日本語ボランティアが学習のみならず日常生活を支援している姿が見られる。学習者は異文化理解への協力者として地域（学校）などで活躍し、識字・日本語学級の意義を地域で広めている。なお、識字・日本語ボランティア活動にあたる人々の活動の指針となるガイドライン『川崎市識字・日本語学習活動の指針』（2003（平成15）年3月）が市民参加により策定され、活動のよりどころとなっている。

#### 2 識字ボランティア研修

『川崎市識字・日本語学習活動の指針』『川崎市外国人教育基本方針－多文化共生の社会をめざして－』に基づき、識字（日本語）学級の学習者と支援者（ボランティア）の学び合う関係づくり、ボランティアの資質の向上、共に生きる地域社会の創造をめざして実施した。2011（平成23）年度も分館を除く全館で実施した。新しくボランティアになりたい人向けの入門研修とすでにボランティア活動を行っている人向けのブラッシュアップ研修を実施した。2004（平成16）年3月に川崎市識字学級研究開発委員会によりワークショップ（参加体験型学習）等の研修の試案が提案され、2006（平成18）年度から、南・中・北部の各地域単位での実践が始まっている。

#### 3 社会人学級

中学校を卒業しているが、様々な事情で十分な学習ができなかった人を対象に、日常生活に必要な中学校課程の基礎的な知識、教養を学ぶ機会を提供するため、中原市民館で1982（昭和57）年に開設した。2002（平成14）年度から会場を教育文化会館に移して開設し、2011（平成23）年度も国語、数学、音楽、課外活動（特別講座）の学習を行った。

#### 4 障がい者社会参加学習活動

障がい（主に知的障がい）のある青年を対象に、社会参加に必要な知識・技能の向上を図り、地域の中で交流を深めることをめざして、1966（昭和41）年に産業文化会館（現教育文化会館）で初めて開設した。1998（平成10）年には、全市民館で実施されるようになったが、一部の館では、ボランティアスタッフの人数に対して参加希望者が多く、人数制限せざるを得ない状況にある。現状では、参加者自身が一人で通える場合限定している館が多いが、精神に障がいがある人、重度や在宅の障がい者への学習提供のあり方や当事者の参画など課題は多い。

## 5 障がい者ボランティア研修

障がい者の理解やボランティア活動のあり方などの研修を行い、障がい者が学習する権利の保障と充実、障がい者の学習に関わるボランティアの人権意識の向上を目指して実施している。「障害者ボランティアリーダー研修」として1997（平成9）年度から開設した。全市の障がい者社会参加学習活動のボランティアを対象としている。

## II 1 識字学習活動

### 教文 (水曜日夜間コース)

開設期間	4月13日(水)～3月14日(水) 19:00～20:30 合計40回			*9月21日は台風のため中止
ボランティア	日本語支援	42名(公募登録ボランティア)	保育	5名(公募登録ボランティア)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サマーパーティ(7/10) 参加者 45名</li> <li>・浴衣を着る会(7/13)</li> <li>・スポーツ交流会(10/12) 参加者 20名</li> <li>・ウインターパーティ(12/18) 参加者 43名</li> <li>・「にほんごひろばニュース」No.1～39発行(基本的に毎学習日)</li> </ul>			

#### (短期学習会)

開設期間	11月25日(金)、26日(土)、12月2日(金)、12月3日(土) 金曜 19:00～21:00 土曜 10:00～12:00			
事業事例	<p>おもに外国人市民とボランティアのための学習会&amp;日本語読み書き講座(健康保険、年金、病院編)</p> <p>外国人市民(主に日本語初級の学習者)にさまざまな日本の社会情報を伝えていけるような「学びの場」「日本語読み書きの学びの場」、またともに学ぶボランティアの人々が、外国人市民をめぐる日本社会の制度を理解する「学びの場」として実施した。 ※より多くの方に参加して頂けるよう、金曜コース、土曜コースを開設した。</p> <p>日本の社会制度・情報を学ぶ①～今後の入管法改正について(11/25, 12/2) 日本の社会制度・情報を学ぶ②～病院受診、健康保険、年金について(11/26, 12/3)</p> <p>講師：法政大学非常勤講師 山田 貴夫、拓殖大学日本語教育研究所講師 大越 貴子 助言者(通訳者)：宮城 健 他4人(英語、中国語、スペイン語) 延べ参加者：16人</p>			

### 幸 (水曜日昼間コース)

開設期間	4月13日(水)～3月14日(水) 10:00～11:30 合計37回			
ボランティア	日本語支援	22人	保育	8人(キャンディ)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏のイベント(6/8) 消防避難訓練 参加者 31人</li> <li>・冬のイベント(12/14) 折り紙、チャリゲーム、魚釣りゲーム、各国お楽しみクイズ、ジェンカなど 参加者 25人</li> </ul>			

#### (木曜日夜間コース)

開設期間	4月7日(木)～3月15日(木) 19:00～20:30 合計35回			
ボランティア	日本語支援	16人	保育	
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春の遠足(5/14) 川崎大師に行ってみよう 参加者 26人</li> <li>・夏のイベント(8/4) 納涼大会～浴衣をきて日本の夏を満喫しよう～ 参加者 30人</li> <li>・冬のイベント(12/15) 音楽イベント～好きな曲をもちよってみんなで楽しく鑑賞しよう～ 参加者 28人</li> </ul>			

### 中原 (火曜日昼間コース)

開設期間	4月26日(火)～3月13日(火) 10:00～12:00 合計34回			
ボランティア	日本語支援	29人(ことばの木)	保育	9人(どんぐりの会)
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶話会(6/21) 参加者 33人</li> <li>・料理教室(10/18・25) 参加者 54人</li> <li>・生け花教室(11/15) 参加者 7人</li> <li>・お楽しみ会(12/13) 参加者 65人</li> <li>・文集作成(3月)</li> </ul>			

#### (火曜日夜間コース)

開設期間	4月12日(火)～3月13日(火) 18:30～20:30 合計38回			
ボランティア	日本語支援	17人(はらっぱ)	保育	なし
事業事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り：盆踊り、茶話会(7/12) 参加者 32人</li> <li>・遠足：東京スカイツリー、浅草(10/30) 参加者 34人</li> <li>・料理教室(12/13) 参加者 43人</li> <li>・茶話会(3/13) 参加者 36人</li> <li>・文集作成(3月)</li> </ul>			

## 高津 (水曜日昼間コース)

開設期間	4月27日(水)～3月14日(水) 10:00～11:30 合計34回			
ボランティア	日本語支援	20人(あいうえおの会)	保育	20人(高津保育ボランティア)
事業事例	・七夕まつり(7/6) 講師 品川和太鼓の会 3人 参加者 42人 ・高津小学校での国際交流総合学習への協力(11/2) 参加者 37名 ・忘年会(12/14) 参加者 75名 ・文集づくり ・料理で国際交流しよう!(3/7)			

### (木曜日夜間コース)

開設期間	4月14日(木)～3月8日(木) 19:00～20:30 合計36回			
ボランティア	日本語支援	22人(三本木の会)	保育	0人
事業事例	・1学期末交流パーティ(7/14) 参加者 43人 ・秋の課外活動 サントリービール工場(11/3) 参加者 32人 ・忘年会(12/8) 参加者 33人 ・3学期末交流会(3/8) 参加者 22名			

## 宮前 (金曜日昼間コース)

開設期間	4月8日(金)～3月9日(金) 10:00～12:00 合計36回			
ボランティア	日本語支援	20名(宮前日本語ボランティアの会)	保育	29名(宮前市民館保育ボランティア)
事業事例	・浴衣の試着(7/8) (主催:LET's 国際ボランティア交流会) ・スピーチ大会(7/15) ・ブラッシュアップ研修企画運営(11/11. 25. 12/9) ・交流会(12/16) ・新年会(2/3) ※ 宮前日本語ボランティアの会との協働事業			

### (水曜日夜間コース)

開設期間	4月13日(水)～3月7日(水) 18:30～20:30 合計31回			
ボランティア	日本語支援	13名(日本語ボランティア「コスモスの会」)	保育	なし
事業事例	・ミーティング ・交流会(3/7)			

## 多摩 (水曜日昼間コース)

開設期間	4月13日(水)～3月14日(水) 10:00～12:00 合計36回			
ボランティア	日本語支援	20人(多摩にほんごの会)	保育	257(多摩保育グループ)
事業事例	・盆踊り教室(7/13) 講師 多摩区文化協会 3名 参加者 25名 ・忘年会(12/14) 参加者 32名 ・毎月最終学習日は、学習者同士の交流 ・情報交換を活性化するために大会議室で活動			

### (金曜日夜間コース)

開設期間	4月15日(金)～3月9日(金) 19:00～20:30 合計36回			
ボランティア	日本語支援	14人(たま語)	保育	なし
事業事例	・日本文化体験(6/24) 参加者 23人 ・盆踊り(7/22) 参加者 21人 ・料理教室(10/21) 参加者 11人 ・忘年会(12/16) 参加者 22人			

## 麻生 (木曜日昼間コース)

開設期間	4月14日(木)～3月15日(木) 10:00～11:30 合計33回			
ボランティア	日本語支援	31人	保育	8人(ジャンケンボン)
事業事例	・世界のスープを食べよう(7/14) 参加者 35人 ・日本のゲームで遊ぼう(12/15) 参加者 46人 ・みんなでひなまつり(3/1) 参加者 51人			

### (木曜日夜間コース)

開設期間	4月14日(木)～3月15日(木) 10:00～11:30 合計33回			
ボランティア	日本語支援	14人	保育	なし
事業事例	・七夕まつり(7/7) 参加者 29人			

# 学習者国別リスト

行	No.	出身国・地域	教文	幸		中原		高津		宮前		多摩		麻生		合計
			夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	午前	夜	
ア行	1	アイルランド										2			2	
	2	アメリカ	1	1		1	2	2	2	5	3	11	2	16	5	51
	3	アルゼンチン														0
	4	イギリス				1	2	2	1	2	2	1		1	2	14
	5	イスラエル														0
	6	イタリア						1	1							2
	7	イラン							1						1	2
	8	インド	36	4	1	1	1	1	1				2		1	48
	9	インドネシア	10	1	1		3	1	5			1		1		23
	10	ウガンダ										1				1
	11	ウクライナ							1							1
	12	ウズベキスタン							1	1	1	2		1		6
	13	エクアドル	1													1
	14	エチオピア								1						
	15	オーストラリア								1	1				1	3
カ行	16	ガーナ							1						1	1
	17	カナダ	1			2		2	2	1	2			1		11
	18	韓国	3	13	2	7	7	16	2	7		5	3	4	3	72
	19	カンボジア				1										1
	20	ギニア											1	1		2
	21	キューバ				1	1									2
	22	グアテマラ														0
	23	ケニア						1				1				2
	24	コートジボワール												1		1
	25	コスタリカ										1				1
	26	コロンビア							1					1		2
サ行	27	ジャマイカ											1		1	
	28	シンガポール						2					1		3	
	29	スイス													0	
	30	スペイン		1			1			1					3	
	31	スリランカ	3			3		1				4			11	
タ行	32	セネガル	1												1	
	33	タイ	6	3	1	9		3		8		4	2	4	4	44
	34	台湾	8	2	2	13	13	10	6	3	2	4	1	4		68
	35	チュニジア				2	1	1	1			1				6
	36	中国	73	24	16	21	25	35	22	14	3	19	17	25	10	304
	37	チリ														0
	38	デンマーク										1	1			2
	39	ドイツ							1						1	2
	40	トルクメニスタン							1							1
	41	トルコ							1							1
ナ行	42	ナイジェリア						1				1			2	
	43	ニカラグア	1													
	44	日本												1		1
	45	ニュージーランド							1			2		1		4
	46	ネパール	5			5	8	1	4			6	4			33
ハ行	47	パキスタン				2									2	
	48	ハンガリー									1					
	49	バングラデシュ				2										2
	50	フィリピン	41	7	3	11	4	16	16	3	6	17	6	5		135
	51	フィンランド														0
	52	ブラジル	4						7	2	1					14
	53	フランス		1					2	2	2	3	1	2	1	14
	54	ベトナム	28	1	2	2	9	2	10	2	1	4	9	3	1	74
	55	ベネズエラ		1		1										
	56	ペルー	14	5	1	1		1	4	1						27
	57	ベルギー													1	1
	58	ボリビア	1												1	2
マ行	59	マケドニア	1													
	60	マレーシア				1	1	1				2	3			8
	61	ミャンマー (ビルマ)	1			1		1			1					4
	62	メキシコ	1	3	1				1							6
	63	モロッコ							1							1
ラ行	64	モンゴル													0	
	65	ルーマニア													0	
	66	ロシア				1		1						2		4
合計			240	67	32	87	79	104	96	54	26	90	56	75	31	1037
参加延べ人数			1507	854	543	891	660	1006	994	616	206	822	348	783	251	9481

## Ⅱ 1 <参考> ボランティア交流事業

### 地域日本語ネットワークのつどい

日 時	平成 23 年 11 月 26 日 (土) 13:00 ~ 18:00
会 場	中原市民館
内 容	<p>識字・日本語学習活動のあり方について、ボランティアや職員等、関係者が情報交換を行い、学級での今後の改善に役立てる目的で行っている。</p> <p>地域日本語教育推進事業の一環として実施され、地域日本語連絡会（識字学習活動担当職員と、活動に関わるボランティアの連絡協議組織）が中心となって企画・運営にあたった。</p> <p>テーマ：(第 16 回)「外国人市民への情報伝達のあり方 ～「やさしい日本語」について～」 東日本大震災の経験から、あらためて災害時の外国人市民に係る課題や問題点について理解を深める。日頃の経験・ネットワークを生かしたどのような支援ができるかを考え、多文化共生社会実現のために識字・日本語学習活動に係わる者が果たす役割を見つめなおす。また、協力してワークショップを行うことにより、ボランティア同志の交流を図り、つながりを築く。</p> <p>講 師：地域国際化推進アドバイザー 元（特活）横須賀国際交流協会事務局次長 新倉千草 横須賀市政策推進部国際交流課上席課長 松本義弘</p>
参 加 者	61 名 (内訳：識字ボランティア 51 名、職員 9 名、その他 1 名)

### 地域日本語連絡会

回	月日	曜	内容	会場
1	4・23	土	情報交換・報告事項（震災に伴うトラブル等） 平成 23 年度役割分担	中原市民館 第 2 会議室
2	5・21	土	情報交換・報告事項（受付状況等） ネットワークのつどい実行委員会	中原市民館 第 2 会議室
3	6・18	土	情報交換・報告事項（読み書きの工夫等） 22 年度会計報告 ネットワークのつどい実行委員会	高津市民館 第 6 会議室
4	7・16	土	情報交換・報告事項（夏イベント等） ネットワークのつどい実行委員会	高津市民館 第 6 会議室
5	8・27	土	情報交換・報告事項、予算についての協議 ネットワークのつどい実行委員会	中原市民館 第 1 会議室
6	9・17	土	情報交換・報告事項（ボランティア研修等） ネットワークのつどい実行委員会	中原市民館 第 1 会議室
7	10・15	土		中原市民館 実習室
8	11・12	土	情報交換・報告事項（班同士の交流、イベント経費について、他） ネットワークのつどい実行委員会	中原市民館 第 1 会議室
9	12・17	土	情報交換・報告事項（年末イベント等） ネットワークのつどい振り返り	高津市民館 視聴覚室
10	1・21	土	情報交換・報告事項（年明けの状況等）	中原市民館 実習室
11	2・18	土	情報交換・報告事項（新規ボランティアの受入れ状況等） 学習会「改正入管法について」講師：山田貴夫	教育文化会館 第 4 会議室
12	3・17	土	情報交換・報告事項（年度末の状況、スピーチコンテストについて、他）	中原市民館 第 1 会議室

## Ⅱ 2 識字ボランティア研修

### 教文 識字ボランティア研修（ブラッシュアップ）

タイトル：学習者との交流を深め、より充実した支援を行うために

主 題：地域の識字・日本語学級にとって必要な知識、心構えを学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・ 1	土	学習支援の方法や、学級運営について、他地域の活動実践例を学び、違いに気づき、自立した活動に向けて考える	即興劇（インプロ）に学ぶ会話手法 他市の活動事例①（東京都中央区）	明海大学 講師 西川 寛之
2	8	土		対話型交流手法の実践 他市の活動事例②（武蔵野市国際交流協会）	武蔵野市国際交流協会日本語学習支援コーディネーター 河北 祐子
3	11・ 16	水		活動の中間振り返り 学習支援や交流事業の課題について話し合う	職員
4	26	土		川崎市地域日本語ネットワークのつどいに参加する（中原市民館）	NPO 法人横須賀国際交流協会 事務局次長 新倉 千草
5	2・ 18	土		生活者としての外国人に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案の活用法ほか	文化庁文化審議会 会長 西原 鈴子

※ 10/1（土）、10/8（土）、幸との合同研修です。

●開設場所 教育文化会館 他

●時間帯 主に 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 26人（男9人、女17人）

●延べ人数 94人

### 幸 識字ボランティア研修

タイトル：識字ボランティア研修（午前ブラッシュアップ）

主 題：識字学習活動の意義を再認識し外国人への日本語学習支援を考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・ 8	水	「ともに学ぶ」という識字の理念のもとに、自分たちの学びの場を学習の参加者全員で検証しこれからのあり方を模索する姿勢を培う	ボランティアの心構え、識字学習活動の目的とは	幸市民館 館長 中村 高明
2	15	水		外国人市民とより深く語り合うために①	TIJ 東京日本語研究所 名誉所長 高柳 和子
3	22	水		外国人市民とより深く語り合うために②	
4	29	水		外国人市民とより深く語り合うために③	
5	7・ 13	水		これまでの振り返りとまとめ	幸日本語学級ボランティア 職員

●開設場所 幸市民館

●時間帯 13:00～15:00

●対象 関心のある方

●参加者数 20人（男5人、女15人）

●延べ人数 81人

### 幸 識字ボランティア研修

タイトル：識字ボランティア研修（夜間ブラッシュアップ）

主 題：識字ボランティアの資質向上を図り、多文化共生の実現を目指す

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・ 16	木	多様な文化をもつ市民が共に生きる地域社会の実現をめざすための活動や学級のありかたについて考える	学習者のレベルを考慮した学習方法について考える	LTC 友の会（杉並区のボランティア日本語の会） アドバイザー 山形 美保子
2	9・ 15	木		やる気をひきだす学習方法について① コーチングを取り入れた学習 理論編	元日本語教師 米国 NLP 協会認定 NLP マスタープラクティショナー 藤生 あゆみ
3	11・ 17	木		いざというときのために ～ AED の使用方法について学ぶ～	幸消防署 職員
4	2・ 16	木		やる気をひきだす学習方法について② コーチングを取り入れた学習 実践編	藤生 あゆみ
5	3・ 22	木		これまでの研修を振り返り、効率的・効果的な学級運営を考える	職員

- 開設場所 幸市民館 ほか ●時間帯 18:30～20:30
- 対象 識字・日本語ボランティア及び関心のある方
- 参加者数 16人(男5人、女11人) ●延べ人数 56人

### 幸 識字ボランティア研修

タイトル：識字ボランティア研修（午前・夜間合同ブラッシュアップ）

主 題：災害時における外国人支援のあり方を考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・17	土	東日本大震災の経験から外国人市民の支援のあり方を考える	外国人市民とともに災害を乗り越えるには	特定非営利活動法人 多文化共生マネージャー全国協議会 理事 高橋 伸行

- 開設場所 幸市民館 ●時間帯 14:00～16:00
- 対象 識字・日本語ボランティア及び関心のある方
- 参加者数 10人(男4人、女6人)

### 中原 識字ボランティア研修（ブラッシュアップⅠ）

主 題：ボランティアの資質向上を図り、学級の課題解決に繋げる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・5	火	ボランティア活動の現場で役立つ、日本語教材の活用法と日本語文法の基礎知識を学ぶ	「みんなの日本語」を活用して学習を運営していく上での具体的な手法を学ぶ。	「みんなの日本語初級1、2書いて覚える文型練習帳」 著者 平井 悦子
2	12	火			
3	19	火			

- 開設場所 中原市民館 他 ●時間帯 13:00～15:00 ③は10:00～12:00
- 対象 日本語ボランティア及び関心のある方
- 参加者数 31人(男4人、女27人) ●延べ人数 84人

### 中原 識字ボランティア研修（ブラッシュアップⅡ）

主 題：ともに学ぶ識字学級をめざして

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・11	土	学級づくりの工夫	中部地区合同研修<中原・高津・宮前> 学習者にとって魅力のある学級づくり	神奈川県立国際言語文化アカデミア 教授 坂内 泰子
2	3・11	日	日本語への理解を深める	外国人が困る「曖昧な日本語」	武蔵野大学 教授 佐々木 瑞枝

- 開設場所 ①高津市民館 ②中原市民館 ●時間帯 10:00～12:00
- 対象 識字ボランティアおよび関心のある方
- 参加者数 22人(男3人、女19人) ●延べ人数 29人

### 中原・高津・宮前 識字ボランティア中部地区合同研修

主 題：学習者にとって魅力のある学級づくり

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・11	土	学習者にとって魅力のある学級づくりをしよう	他館のボランティアと意見交換しながら、学習者が「また来たい」と思えるような学級づくりの工夫について考える	神奈川県立国際言語文化アカデミア 教授 坂内 泰子

- 開設場所 高津市民館 ●時間帯 10:00～12:00
- 対象 識字ボランティアおよび関心のある方 ●参加者数 33人(男7人、女26人)

## 高津 識字ボランティア研修（入門）

主 題：これからボランティア活動を始める上での基礎知識を身につける

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・ 2	金	川崎市の日本語ボランティアとしての心構えについて学ぶ	川崎市の識字の理念・川崎市の識字学習のめざすものとは何かについて学ぶ	橘分館 館長 小柳 俊子
2	9	金	生活者としての外国人について知る	外国人市民がボランティアに望んでいる事について知る	国立国語研究所 日本語教育研究・情報センター 上席研究員 野山 広
3	16	金	外国人市民の置かれている状況について知る	外国人を取り巻く法律制度について学ぶ	法政大学 講師 山田 貴夫
4	22	木	ふれあい館について知る	ふれあい館から川崎市の識字学級の原点について学ぶ	ふれあい館 職員 原 千代子
5	30	金	日本語ボランティアの実際について学ぶ	日本語ボランティアになったきっかけや、続ける上で必要なことについて知る	三本木の会・あいうえおの会 日本語ボランティア
6	10・ 7	金	外国人へ日本語を教えること1	外国人に実際日本語を教えるにあたってのボランティアとしての役割を理解する	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター フェロー 吉田 聖子
7	21	金	外国人へ日本語を教えること2	外国人に実際日本語を教えるにあたって大切にすべき事について理解する	

- 開設場所 高津市民館 他
- 対 象 市民館で活動予定の方
- 延べ人数 152人
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 参加者数 32人(男8人、女24人)

## 高津 識字ボランティア研修Ⅱ（ブラッシュアップ）

主 題：日本語ボランティアとしてスキルアップをしよう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・ 7	水	日ごろの活動で感じている日本語学習支援についての疑問や不安を共有し、解決する	学習者が主体的に語り合うための日本語学習の具体的な方法について学ぶ ～接続と文末の練習を中心に～	TIJ 東京日本語研究所 名誉所長 高柳 和子
2	14	水			
3	11・ 9	水			

- 開設場所 高津市民館 他
- 対 象 識字ボランティア活動中の方
- 延べ人数 76人
- 時 間 帯 13:30～15:30
- 参加者数 32人(男11人、女21人)

## 高津 識字ボランティア研修Ⅲ（ブラッシュアップ）

主 題：日本語ボランティアとしてのスキルアップをはかる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・ 23	日	学習者に解りやすく説明する方法を学ぶ	日本語教室における日本語教授法について	日本大学 集中日本語講座 日本語教師 藤橋 帥子
2	11・ 20	日	自分たちの学級の現状について知る	日本語教室（夜）の現状と課題	三本木の会 日本語ボランティア
3	1・ 28	土	外国人市民の置かれている状況について知る	外国人を取り巻く現状と課題	(財) 海外技術者研修協会 日本語教育センター長 春原 憲一郎

- 開設場所 高津市民館 他
- 対 象 識字ボランティア活動中の方
- 延べ人数 45人
- 時 間 帯 13:30～15:30
- 参加者数 28人(男7人、女21人)

## 宮前 日本語ブラッシュアップ研修Ⅱ

主 題：初・中級クラスでコミュニケーション

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・14	水	識字活動の更なる充	初・中級クラスでコミュニケーション①	LTC 友の会 アドバイザー 山形 美保子
2	21	水	実を図る	初・中級クラスでコミュニケーション②	

- 開設場所 宮前市民館 ●時 間 帯 18:30～20:30
- 対 象 識字ボランティアとして活動経験のある方、および関心のある方
- 参加者数 17人(男7人、女10人) ●延べ人数 27人

## 宮前 識字ボランティア研修

タイトル：識字ボランティアブラッシュアップ研修

主 題：識字ボランティアに求められている事を考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・11	金	学習者の生活と立場を理解し、日本語を話すための具体的な方法を学ぶ	学習者が生活する上で活用できる具体的な日本語の会話について考える	公益社団法人国際日本語普及協会 日本語教師 松尾 恭子
2	25	金	日本に暮らす外国人市民が抱える課題を知る	学習者のニーズを引き出すためのコミュニケーション方法を考える	
3	12・9	金	学習者が一番知りたいことは何かを外国人市民の言葉を聴きながら考える	学習者が一番知りたいことは何かを外国人市民の言葉を聴きながら考える	松尾 恭子 学芸大学附属高校 講師 若本ルシア

- 開設場所 宮前市民館 第4会議室 ●時 間 帯 14:00～16:00
- 対 象 識字ボランティアの活動経験がある方及び関心のある方
- 参加者数 32人(男4人、女28人) ●延べ人数 78人

## 多摩 日本語(識字)ボランティア入門研修

タイトル：学び合うにほんご

主 題：日本語学習支援を担う人材を育成する

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6・11	土	外国人市民の現状と課題①	母語に対する私たちの思い	グルッポ ABC 和田 タニア
2	25	土	コミュニケーションの築き方	自分を知り、相手を知る	アサーティブジャパン講師 沢部 ひとみ
3	7・2	土	外国人市民の現状と課題②	川崎市に住む外国人市民の現状と課題を知る	川崎国際交流センター 課長 吉田 和江
4	9	土	日本語ボランティアの心構え	日本語ボランティアとして	横浜国立大学 講師 矢部 まゆみ
5	20	水	日本語学習支援について①	見て、聞いて、感じよう日本語学習支援の場	職員
6	23	土	ボランティアの心構え	はじめよう、ボランティア	(公財)かわさき市民活動センター 理事長 小倉 敬子
7	30	土	学習者の立場を考える	体験しよう!異文化	異文化コンサルタント 山本 薫
8	8・6	土	日本語学習支援について②	どうだった?日本語学習支援の場	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター フェロー 吉田 聖子
9	27	土	学習活動を始める準備	学習活動を始める準備	多摩市民館 日本語ボランティア
10	9・3	土	まとめ	識字の理念とは・学習のまとめ	職員

- 開設場所 多摩市民館 ●時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 日本語ボランティアを希望している人
- 参加者数 30人(男4人、女26人) ●延べ人数 258人

## 麻生 識字ボランティア入門研修

主 題：日本語学校とは異なる識字学習活動に求められるもの

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・ 7	木	日本語学校と識字学習活動の違いについて考える	識字学習活動見学～長所と課題の発見	職員
2	12	火	日本語学校と識字学習活動の違いについて考える	識字学習活動の趣旨とそこから派生するボランティアの役割	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター フェロー 吉田 聖子
3	14	木		学習活動に向けて事前に準備すること	
4	21	木	学習計画のつくり方	学習活動に向けて事前に準備すること	
5	26	火	グループ学習活動のすすめ方	グループ学習のすすめ方～それぞれの役割	

●開設場所 麻生市民館

●時 間 帯 主に 14:00～16:00

●対 象 関心のある方

●参加者数 15人(男6人、女9人)

●延べ人数 47人

## 麻生 識字ボランティアブラッシュアップ研修

主 題：日本語学校とは異なる識字学習活動に求められるもの

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・ 22	土	相乗効果のあるグループ学習のあり方と学習準備について	グループ学習のあり方とそれぞれの役割① ～入門レベルの特徴と課題～	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター フェロー 吉田 聖子
2	29	土		グループ学習のあり方とそれぞれの役割② ～初級レベルの特徴と課題～	
3	12・ 3	土		グループ学習のあり方とそれぞれの役割③ ～中級レベルの特徴と課題～	
4	10	土		グループ学習のあり方とそれぞれの役割④ ～上級レベルの特徴と課題～	
5	17	土	外国人市民の法的地位について理解する	「改定」入管法・入管特例法・住民基本台帳法	NGO カラバオの会 植田 善嗣

●開設場所 麻生市民館

●時 間 帯 10:00～12:00

●対 象 識字ボランティア

●参加者数 37人(男10人、女27人)

●延べ人数 108人

## Ⅱ 3 社会人学級

### 1. 趣 旨

中学校は卒業しているが、いろいろな事情で十分に学習できなかった人が、中学校初級程度の学力を身につけるとともに、学習の楽しさを知り、自分で学んでいける力を培うことをねらいとする。

### 2. 対 象

市内在住または在勤の15歳以上の方

### 3. 開催期間・時間

5月6日（金）～3月7日（水）18:30～20:30

### 4. 会 場 教育文化会館

### 5. 指導方針

原則として、国語・数学を中心に、週2回の学習で、いずれも中学校程度の学習を行なうが、学習者の学力・要望に応じて弾力ある学習展開を行なう。

### 6. 科目・内容・回数・講師

科目	主 な 学 習 内 容	回数	講師・助言者など
国語	言語、詩、短歌、俳句、漢詩、随想、物語、論語、読書、輪読、作文、和歌、童話、漢字、文集作成	30	元教師 藤原 治子
数学	数のいろいろ、正の数・負の数、文字式、方程式、平面図形、空間図形、確率	30	元教師 笠 ヒサ子
特別講座	音楽 音楽の歴史・思い出 文部省唱歌の歌唱 トーンチャイムの奏法	2	元教師 高橋 フサノ 石田 洋子
	課外活動 ホームルーム：学級の運営方法などを話し合い、交流を深める	1	職員 藤原 治子 笠 ヒサ子

### 7. 受講者数

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男	0	0	0	2	0	4	6	0	12
女	0	0	2	0	0	15	5	0	22
計	0	0	2	2	0	19	11	0	34

### 8. 延べ人数 1134人

## Ⅱ 4 障がい者社会参加学習活動

### 教文 教文青年教室

主 題：共に生きる地域社会をつくるために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・15	日	グループワークとコミュニケーション 1	自己紹介、班決め 名札作り	職員 ボランティアスタッフ
2	6・12	日	社会と文化にふれる 1	夢見ヶ崎動物公園見学	
3	7・10	日	社会と文化にふれる 2	日帰りバスハイク（東京ドイツ村）	
4	9・11	日	グループワークとコミュニケーション 2	買い物から料理実習	
5	10・9	日	スポーツと仲間作り 1	スポーツ交流会（JFE 水江体育館）	
6	11・13	日	社会と文化にふれる 3	日帰りバスハイク（三浦 みかん狩り）	
7	12・11	日	グループワークとコミュニケーション 3	クリスマス会	
8	1・15	日	自己表現	初詣と新年会（稲毛神社、カラオケPIA）	
9	2・12	日	スポーツと仲間作り 2	ボウリング大会（川崎グランドボウル）	
10	3・11	日	グループワークとコミュニケーション 4	今年度の反省と来年度の計画づくり	

- 開設場所 教育文化会館 他 ●時間帯 主に 10:00 ～ 14:00
- 対 象 養護学校、特別支援学級の卒業生
- 参加者数 33人（男23人、女10人） ●延べ人数 251人

### 幸 サンデーフレンドパーク

主 題：地域の仲間と共に学ぼう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・22	日	障がいのある人たちがさまざまな活動を通して、社会参加に必要な基礎的な知識・技術の向上を図り、ボランティアなど地域の人たちと共に学べる機会を設け、地域社会における仲間づくりを目指す	新年度顔合わせ、自己紹介	ボランティアスタッフ 職員
2	6・26	日		身体を動かす（卓球、ラーメン体操）	
3	7・24	日		料理（冷し中華）	
4	8・21	日		ボーリング	
5	9・18	日		旅行（武蔵野ビール工場見学）	川崎ボッチャクラブ 新橋 さち子
6	10・23	日		ボッチャで遊ぼう	
7	11・27	日		旅行（上野動物公園）	ボランティアスタッフ 職員
8	12・18	日		クリスマス会	幸こども文化センター 職員 山内 絵里 ボランティアスタッフ 職員
9	1・15	日		指編み体験	
10	2・12	日		バス旅行（市原ぞうの国）	
11	3・4	日		修了式	ボランティアスタッフ 職員

- 開設場所 幸市民館 他 ●時間帯 原則 13:30 ～ 15:30
- 対 象 主に市内在住の知的障がいのある方
- 参加者数 8人（男6人、女2人） ●延べ人数 59人

### 中原 ヤングジャンプセミナー

主 題：学びを通じて仲間との交流を深める

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	4・17	日	活動計画策定への主体的参加	受付と年間活動計画作成	ボランティアスタッフ
2	5・15	日	集団行動を通じての学び	バスハイク①（マザー牧場）	

3	6・19	日	集団行動を通じての学び	遠足①(お台場・船の科学館)	
4	7・24	日	ものづくりへの関心を深める	ものづくり(豚肉のコーラ煮、アイスクリーム)	ボランティアスタッフ
5	9・24 25	土 日	集団生活を通じての学び	合宿(青少年の家) レクリエーション 他	
6	10・9	日	運動を通じての健康づくり	スポーツ(とどろきアリーナ) ※宮前市民館との合同プログラム	とどろきアリーナ職員 ボランティアスタッフ
7	16	日	集団行動を通じての学び	遠足②(こどもの国)	ボランティアスタッフ
8	11・20	日	運動を通じての健康づくり	スポーツ(ダンス、卓球)	石田 幸子、笠原 達子 ボランティアスタッフ
9	12・18	日	共同作業を通じての学び	クリスマス会(料理、ゲーム、飾りつけ)	ボランティアスタッフ
10	1・15	日	集団行動を通じての学び	バスハイク②(アサヒビール神奈川工場)	
11	2・19	日	家庭生活への関心を深める	料理(いなり、けんちん汁)	料理研究家 米井 智子 ボランティアスタッフ
12	3・18	日	振り返りと来年度への展望	まとめ・振り返り	ボランティアスタッフ

●開設場所 中原市民館 他

●時間帯 9:30～14:00

●対象 障がいのある方

●参加者数 30人(男16人、女14人)

●延べ人数 232人

## 高津 日曜ふれあい広場

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・15	日		顔合わせ・連絡帳づくり	
2	6・19	日	地域の仲間やボランティアスタッフと様々な内容の実習や学習活動を行ないコミュニケーションと余暇の充実地域社会への参加を図り、ノーマライゼーションの理念に基づきともに生きる地域社会の実現を目指す	料理教室	ボランティアスタッフ
3	7・17	日		消防博物館(バスハイク)2・4・6班	
4	9・18	日		消防博物館(バスハイク)1・3・5班	
5	10・16	日		運動会	
6	11・20	日		クリスマスの飾りづくり	
7	12・18	日		クリスマス会	
8	1・15	日		初詣(溝口神社)・今年の抱負発表	
9	2・19	日		高津三館祭り見学	
10	3・18	日		修了式	

●開設場所 高津市民館 他

●時間帯 10:00～14:00

●対象 障がいのある方

●参加者数 45人(男31人、女14人)

●延べ人数 334人

## 宮前 障がい者社会参加学習活動みやまえウインズ

主 題：ノーマライゼーションの理念に生きる地域社会の実現を目指す

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・8	日	いろいろな体験を通じて余暇活動の充実を図るとともに、みやまえウインズを通じて、仲間やサポーターとのつながりあいを強める	ミーティング(自己紹介、今年度の活動についてなど)	ボランティアスタッフ
2	6・12	日		ゲーム大会	
3	7・10	日		バスハイク(万葉公園、湯河原美術館)	
4	9・11	日		楽器づくり・うたと演奏	
5	10・9	日		スポーツ大会(中原ヤングジャンプと交流)	とどろきアリーナ職員 前田 亨介 ボランティアスタッフ
6	11・13	日		アート・ミュージックセラピー	音楽療法士補 井出 絵理子 ボランティアスタッフ
7	12・11	日		クリスマス会、保護者会	ボランティアスタッフ
8	1・8	日		バスハイク(日本寺、金谷港)	

9	2・12	日	工作(写真たて)、音楽劇	ボランティアスタッフ ウッドイクラブクラブ 井出 絵理子
10	3・11	日	お疲れ様会(スライドショー) 修了式	井出 絵理子 白南ライトミュージッククラブ ルアナ・ココオルア ボランティアスタッフ

- 開設場所 宮前市民館 他
- 時間帯 10:00～14:00
- 対象 区内在住の障がいのある方
- 参加者数 20人(男14人、女6人)
- 延べ人数 182人

## 多摩 青年教室

主 題 地域の仲間と充実した社会生活を！

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・14	土	地域での体験活動 や交流をとおして障 がいのある人の社会 参加を図るとともに、 ノーマライゼーション の理念に基づき共に 生きる地域社会への 実現をめざす	オリエンテーション	ボランティアスタッフ 職員
②	6・11	土		料理体験①(タイ料理を作ろう!) タイの遊びに挑戦!	ボランティアスタッフ 市民館利用団体メンバー 職員
③	7・9	土		料理体験①(ピザを作ろう!) 太極拳に挑戦!	ボランティアスタッフ 職員
④	9・3	土		バスハイク①(鉄道博物館)	
⑤	10・1	土		バスハイク②(山中湖)	
6	11・19	土		スタンドグラスアートを作ろう!	
7	12・10	土		冬のお楽しみ会	専門指導者 ボランティアスタッフ 職員
⑧	1・28	土		アート体験①(タオ書画)	
⑨	2・25	土		アート体験①(切り絵)	
10	3・17	土		たま学びのフェア	ボランティアスタッフ 職員

②と③、④と⑤、⑧と⑨については選択により活動

- 開設場所 多摩市民館 他
- 時間帯 主に10:00～15:00
- 対象 区内在住・在勤の障がいのある方
- 参加者数 35人(男21人、女14人)
- 延べ人数 183人

## 多摩 共学セミナー ボッチャを楽しもう！

主 題：後天的に障害を持った方がボッチャ競技を通じ地域の人と関わる

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・3	木	病気や事故で身体障 がいを持った方々は それまで楽しんでい たスポーツができなく なりそれを通しての人 とのつながりもなくし ている。また、重度 の障がいの方々ほど 公的な場もないので、 地域とつながるチャン スが少ないのが現状 である	ボールを「触る」「握る」投げる」「ひろう」「転が す」などの基本動作から身体を動かすことを学 ぶ。いっしょにボッチャをする楽しさを感じあう	ボッチャ競技者 秋元 妙美
2	27	日			
3	12・18	日			
4	1・15	日			
5	29	日		楽しむことから勝ち負けの悔しさを経験し向上心 へとつなげる	

- 開設場所 大会議室
- 時間帯 13:00～15:00
- 対象 身体障害のある方・健常者
- 参加者数 13人(男10人、女3人)
- 延べ人数 49人

## 麻生 麻生青年教室

主 題：地域で仲間をつくろう

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	5・15	日	仲間やボランティアと様々な活動を通して、社会参加に必要な基礎的・基本的な知識や技術を身につける。ノーマライゼーションの理念に基づき共に生きる地域社会の実現を目指す	開講式(自己紹介とマジックショー)	新百合マジッククラブ 松澤 フキ子
2	6・4	土		(B 班学習会) 青年教室かるた作り	職員
3	26	日		(A 班活動) 岡上をあるこう!	ボランティアスタッフ
4	7・3	日		(A 班学習会) 青年教室かるた作り	職員
5	17	日		(B 班活動) 岡上をあるこう!	レクリエーション指導者 鈴木 浩子
6	9・3	土		(B 班学習会) うちわ作り	職員
7	18	日		(A 班活動) 芋ほり体験	ボランティアスタッフ
8	10・1	土		(A 班学習) うちわ作り	職員
9	16	日		(B 班活動) 芋ほり体験	ボランティアスタッフ
10	11・12	土		(B 班学習) 絵手紙	ボランティアスタッフ 職員
11	27	日		きみが主役だ!クッキング(A 班活動)	ボランティアスタッフ
12	12・3	土		(A 班学習) 絵手紙	ボランティアスタッフ 職員
13	18	日		きみが主役だ!クッキング(B 班活動)	ボランティアスタッフ
14	1・15	日		もちつき	
15	2・4	土		(B 班学習) お世話になっている人に絵手紙を送ろう	ボランティアスタッフ 職員
16	19	日		バスハイク	ボランティアスタッフ
17	3・3	土		(A 班学習) お世話になっている人に絵手紙を送ろう	ボランティアスタッフ 職員
18	18	日		閉講式(ダブルダッチがやってくる)	ボランティアスタッフ 日本体育大学 学生4人

●開設場所 麻生市民館 他 ●時間帯 10:00～14:00(学習13:30～14:30)

●対象 区内在住、在勤の障がいのある方

●参加者数 36人(男26人、女10人) ●延べ人数 279人

## Ⅱ 5 障がい者ボランティア研修

### 生涯学習推進課 障がい者社会参加活動ボランティア合同研修

主 題：障がい者と関わるボランティアに必要なもの

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	3・25	日	知的障がいについての理解と、障がいを持つ方との接し方を身につける	「知的障がい」を知る	健康福祉局障害者更生相談所 知的相談判定係長 藤野 雅人

●開設場所 多摩市民館 第4会議室 ●時間帯 14:00～16:00

●対象 障がい者社会参加活動ボランティア、職員及び関心のある方

●参加者数 8人(男4人、女4人) ●延べ人数 8人